

古歌に曰く

三八二二番

橘たちばなの寺てらの長屋ながやに 我が率あ寝ねし 童女うな放はなりは  
髪かみ上げあつらむか

決めて曰く

三八二三番

橘たちばなの照てれる長屋ながやに 我が率あ寝ねし 童女うな放はなりに  
髪かみ上げあつらむか

長なが忌のいみ寸き意おき吉ま麻ま呂ろの歌うた八首

三八二四番

さし鍋なべに 湯沸ゆわかせ子こども 櫟津いちひつの 檜橋ひぼしより来こ  
む 狐きつねに浴あむさむ

行むか藤ばき、蔓菁あきな、食す薦こも、屋や梁うつはりを詠よむ歌うた

三八二五番

食す薦こも敷しき 蔓菁あを煮な持もち来こ 梁うつはりに 行むか藤ばき掛かけて  
休やすむこの君きみ